

前文検討において導きだされたキーワードなど

		イメージすることば	導き出されたキーワード
1 班	協働の必要性、 まちの課題	○福祉課題、高齢者問題、市民・行政の共通認識、市全体の危機感の共有、協力、心の繋がり、コミュニティ、若者の流出、子供たちが夢・希望を持てるまち、積極的な市民参加、役割、市民活動	・高齢化 ・人口減 ・協働
	まちづくりの 将来像	健康、愛着のあるまち、誰もが生きがいを持てる、(子供・高齢者)ひとにやさしいまちづくり、安心安全、福祉のまち、共に発展すること、だれもが住みたい、地域の絆	
	市民の決意、思 い	郷土愛、未来につなぐ、課題を魅力に、共生、誇れる	
2 班	協働の必要性、 まちの課題	少子高齢化、介護施設の充実、市民みんながまちづくりに無関心でいられない、地域のつながり、災害に弱い、若い人の働き口が少ない、資源を有効に利用し新しい産業の育成、特徴的・個性的な産業・サービスの育成、新たな歴史と文化を育むまちづくり、住んで良かったと思えるまちづくり、住み良いまちづくり、活気あふれるまちづくり、先人が築き上げた歴史あるまち、持続可能なまちづくり、高齢者や子供が住みやすい都市、子供たちの誇りに思えるまち	・少子高齢化 ・地域のつながり ・住んでよかったと思えるまちづくり ・住み良いまちづくり ・活気あふれるまちづくり ・先人たちが築き上げた歴史あるまちづくり ・高齢者や子供が住みやすい都市
	まちづくりの 将来像	地域社会を市民と共に発展させる、市の観光を目玉とし市民と協働する、住みたいまち、住みやすい住みたくなる都市、高齢社会に打ち勝つまちづくり	・子供たちの誇りに思えるまち ・住民自ら考え決める
	市民の決意、思 い	自ら参加、住民自ら考える、お互い思いやり助け合える、市民と団体との共有を図り発展していく、子供たちの未来のために	
3 班	協働の必要性、 まちの課題	若者が生きていける場の少なさ、価値観の多様化、町内公民館の加入率の低下、財源減、人口減少(急速な少子高齢化)、空き家の多さ(街の空洞化)、年代の構成バランスの悪さ、市民と行政の意識改革、市民と行政の役割分担	・コミュニティの希薄化 ・まちの空洞化 ・希望が持てるまち ・教育が重視されるまち
	まちづくりの 将来像	気持ちの良い挨拶が交わされる街、希望が持てる街、誰もが生き甲斐を持てる、高齢者が多いことをプラスとする街(起業の促進[一人暮らしの高齢者の宅配充実])、まちづくりのための人材育成の継続、子供たち	

		が夢と希望を持って健やかに成長できる、街づくりは人づくり（子供の教育）の意識が広がる街	
	市民の決意、思い	高齢者をプラスとするまちづくり、地域が自立的に地域のことを決める、市民がまちづくりに参加することが期待される、市民と市民が協働	
4 班	協働の必要性、まちの課題	市民がまちづくりの主役であるという意識を持って、つながりが薄くなった地域、市と市民それぞれの役割と責任を理解して、	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性 ・つながり ・役割分担・相互補完 ・地域 ・ひとづくり ・協働 ・生きやすい環境 ・協働 ・継続 ・地域の主体性 ・子育て
	まちづくりの将来像	地域コミュニティの復活、地域で見守り安心して住み続けられるまちづくり、地域の関わりを大切に市がサポートしていく、地域福祉力の向上、生み育て住み続けられるまち、郷土愛を育む、対等（市と市民）、若い人が挑戦できる環境づくり、高齢者が生き甲斐を持てるまち	
	市民の決意、思い	市と市民が一体となってまちづくりを推進していく、継続したまちづくり、地域のことを地域で決める、子供たちが夢を持てるまちへ	
5 班	協働の必要性、まちの課題	消滅可能都市、人口減少、若年女性の減少、10代がいなくなる、少子高齢化の進行、核家族化・単身世帯の増加、隣近所との関係（人間関係）の希薄化、地域の絆、寄り添い、価値観の多様化、まちの魅力、産業の衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少 ・地域のつながりの希薄化 ・まちの魅力の減少
	まちづくりの将来像	子ども・若者・大人・高齢者の年齢バランスが良いまち、ゆるやかで自由なつながり、一人ひとりの尊厳を尊重、一人ひとりがみんなのために、思いやりのあるまち、地域のつながりが強い、老若男女交流の場づくり、10代のまちづくり構成、若者女性まちづくり構想、にぎやかで活気あるまち、誰もが自分らしく生き生きと暮らしている、一人ひとりが楽しく、一人ひとりが役立てる実感が味わえる	
	市民の決意、思い	一人ひとりが自ら考えみんなのためそれぞれが自分ができることを自ら考え動く、若年女性が生き甲斐のあるまちづくりの推進、過去を振り返らず未来を創造していくまちに、10代が雇用を創り出すまちづくり制度の導入、市民と行政が力をあわせてまちづくり	